

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月1日

【評価実施概要】

事業所番号	0171600273		
法人名	株式会社 ティーシーエイ		
事業所名	グループホーム 巴		
所在地	北海道檜山郡厚沢部町滝野518番地1号 (電話) 0139-64-2002		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月31日	評価確定日	平成22年4月15日

【情報提供票より】(平成22年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年3月8日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 19人, 非常勤 1人, 常勤換算	15.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	16,000~22,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,500 円	

(4) 利用者の概要(1月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.5 歳	最低	76 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北海道立江差病院・厚沢部町国保病院・小山歯科
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

厚沢部町主催の高齢者運動会や敬老会参加、認知症学習会で講師を務める等包括支援センターや地域との連携に取り組んでいる2ユニットのグループホームです。また、看護学生やヘルパー実習生、実践者研修の受け入れなどホームの持つ機能の地域への還元にも努めています。年度毎の事業計画の中で、職員の研修計画が立てられ、桧山支庁や厚沢部町、グループホーム連絡協議会等の外部研修参加も積極的に行われていると共に事故の未然防止やリスマネジメント等内部研修も充実させて、職員の段階に応じた学ぶ機会も確保されています。また、一人ひとりの力や好みを活かしながら、料理の準備や味付け、食器洗いや後片付け等本人の希望にそって支援しています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、水分摂取量の記録の記載について課題が挙げられていましたが、食事・水分摂取量の記録や体重チェック表も備えられ、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援が行われています。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 管理者及び職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づき、振り返りとして利用されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に於いてその内容が報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され、主な議題は介護職員処遇改善交付金について 地域交流の取組み(町内会への広報誌回覧)について 厚沢部町認知症学習会の協力について 認知症リーダー研修報告について グループホーム巴「夏祭り」実施について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が管理者、職員に意見や苦情等を言い表せるように共用空間に「意見箱」を設置しています。また、苦情等の法人受付窓口を明確にし、苦情や意見を外部に表せる機会を設けています。家族等の来訪時には、要望や不安な点等話し合わせ、職員間で検討されて運営に反映されるよう努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 看護学生やヘルパー実習の受け入れ、認知症学習会で講師を務めて地域交流を促進する等ホームの持つ機能の地域への還元や地域の人々に認知症について理解戴く機会の確保に積極的に取り組んでいます。また、グループホーム広報誌「ともえ」を定期的に発行して、町内会に回覧するなど広報に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、グループホーム独自の理念をつくり、職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の実践に向けてカンファレンスやミーティングを通じて話し合い、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	看護学生やヘルパー実習の受け入れ、認知症学習会で講師を努めて地域交流を促進する等ホームの持つ機能の地域への還元や地域の人々に認知症について理解戴く機会の確保に積極的に取り組んでいる。また、グループホーム広報誌「ともえ」を定期的に発行して、町内会に回覧するなど広報に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づき、振り返りとして利用している。また、外部評価の結果については、運営推進会議に於いてその内容が報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月ごとに定期的開催され議事録も常備されている。また、委員は家族代表、包括支援センター職員、町内会役員、他施設の介護支援専門員、民生委員、管理者及び職員で構成され、地域との連携など具体的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>法人及び管理者は、市担当者との連携の重要性については十分理解し、厚沢部町地域ケア会議やケアマネ会議、包括支援センター運営会議参加を通じて、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は、出納帳と共に毎月報告されている。また、グループホーム広報誌「ともえ」を毎月発行して、お花見や外食等のホーム行事参加の様子や日常の暮らしぶりが毎月報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が管理者、職員に意見や苦情等を言い表せるように共用空間に「意見箱」を設置している。また、苦情等の法人受付窓口を明確にし、苦情や意見を外部に表せる機会を設け、そこでの意見が職員間で話し合われ運営に反映されるよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年度毎の事業計画の中で、職員の研修計画が立てられ、桧山支庁や厚沢部町、グループホーム連絡協議会等の外部研修参加も積極的に行われていると共に事故の未然防止やリスクマネジメント等内部研修も充実させて、職員の段階に応じた学ぶ機会も確保されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	厚沢部町地域ケア会議やケアマネ会議、包括支援センター運営会議参加、グループホーム協議会を通じて意見交換や情報交換が行われケアサービスに活かされている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、入居前には、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の思いや意向を尊重して蕎麦などの外食、料理や食事の準備、畑作業や野菜の収穫など職員と一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、畑作業や野菜の収穫、近隣の散歩やスーパーでの買い物、ホーム行事参加や厚沢部町主催の敬老会や運動会参加など本人本位に検討している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成され利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、介護支援専門員が中心となってカンファレンスを随時実施し、家族と相談し現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買い物、通院やお墓参りの送迎等多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医や医療機関と連携した日常的な健康管理が行われ適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。また、職員の研修も行われている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	共用空間の見やすい場所に「個人情報方針」が明示されている。また、職員間で身体拘束廃止の共通認識を持つ取り組みを行っている。一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、外出や外食、畑作業など一人ひとりの希望や思いを把握して生活の支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食材の買出しや調理、配膳の準備や食器洗い等一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、ゆっくりと入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を活用して、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら配膳の準備や食器洗い、畑作業や野菜の収穫など「本人ができること」への生活の支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩やスーパーでの買い物、花見やお墓参り、町内交流会への参加など戸外に出かけられるよう支援している。また、冬期間の外出の機会を増やす検討が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	法人及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関はセンサーの設置で外出が察知できるように鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災避難訓練、設備の点検が定期的実施され、緊急時に協力が得られるように地域の人達にも参加を呼びかけている。		スプリンクラーの設置について行政と話し合われているので、早めの設置を期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランスは、行政の栄養士の指導・助言を得ている。また、個別の嚥下状態や具体的な食事、水分の摂取量、栄養状態に応じた支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられず、広いリビングでは、椅子やソファが配置され、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、窓やベランダからは四季折々の風景や農作物が眺められる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、家族の写真が飾られたり、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ居心地よく過ごせるように工夫している。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。